

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 428 号	氏名	横山 美穂
学位審査委員	主 査 中山 浩次 副 査 根本 孝幸 副 査 筑波 隆幸		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、LPS 連続投与マウスの T 細胞による破骨細胞形成促進メカニズムの解明を <i>in vitro</i> および <i>in vivo</i> で検討したものであり、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 LPS 連続投与マウスの T cells (LPS-T cells) による LPS 存在下での破骨細胞形成促進に LPS-T cells に発現した膜型 CD40 Ligand (mCD40L) が重要であることを明らかにするため、<i>in vitro</i> 実験系において ①T 細胞と破骨細胞前駆細胞との細胞間接触遮断実験、②共培養への抗 CD40L 抗体添加実験、③T cells における mCD40L 発現確認、④rCD40L 添加実験 を行った。 さらに <i>in vivo</i> 実験系として、rCD40L の組織注入実験を行った。 以上の実験により LPS-T cells の mCD40L が破骨細胞形成促進に重要であることが示唆され、研究手法は妥当であった。</p> <p>解析・考察の評価 以上の検討の結果、<i>in vitro</i> および <i>in vivo</i> の両系において CD40L が LPS 存在下での破骨細胞形成を促進することが明らかになった。さらに、LPS-T cells に発現した mCD40L が破骨細胞形成を促進することが示唆された。これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は炎症性骨吸収における T 細胞の促進メカニズムの解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(歯学)の学位に値すると判断した。</p>			